

独自開発の「DSP・ハイブリッドシステム」設置稼働、経過報告



左写真は、今回採用されたリゾート施設・合併処理槽での設置状況です。当該現場の汚泥減容対策での設置となりました。本施設は、日量200m³の計画処理量で年間約200m³の余剰汚泥が発生致します。今回のDSPハイブリッドシステム設置により余剰汚泥の大幅削減を目指すこととなります。

昨年6月には1日流入量:200m³の施設に設置のDSP・HVシステムは順調に稼働し約1年を向かえます。汚泥削減の効果が実証され、汚泥引抜きの事態に至っていません。

同じく昨年6月には、東京都内の除害施設で性能UPを目指し設置を致しました。DSP・ハイブリッドシステムの効果(**n-Hex:30mg/l以下**)で性能の向上が図られており安定した水質を維持しています。

DSP・ハイブリッドシステムには、臭気の削減効果があります。本装置の納入箇所では臭気指数が**2桁(30以上)から1桁(10以下)**に大きく下がりが悪臭は感じられません。管理スペースの環境改善に役立っています。

DSP・ハイブリッドシステムは、当初DSP処理槽の性能促進のために開発致しました。

しかし、実験を繰り返す中で発見したのは、汚水中に**酸素が分子状態で溶解すると臭気**が大幅に低下することでした。

当該処理槽のメンテナンスには臭気がつきものです。そんなメンテナンスから逃れたい、そのような職場環境の改善を図りたい……。

そんな臭気問題解決にピッタリな商品に偶然仕上がりしました。その脱臭力は、既存の脱臭装置に劣らない効果を発揮しています。

現在、DSP排水処理システム処理槽に臭気抑制装置として15ヶ所に設置しています。全ての施設は悪臭から改善が図られています。

尚、副次効果として余剰汚泥の減容が図られることも実証されています。納入の箇所での汚泥引き抜きはありません。

安定した処理性能維持の補完装置としても充分効果を発揮しています。

街にはハナミズキやツツジが咲き誇り、季節外れの話題ですが……。

水物語 No28 なんと世界一の積雪記録は以外にも日本・滋賀県でした！

「山笑う季節」なのに、3月14日神奈川県箱根町では19cmの積雪、4月29日ゴールデンウィークスタート日、北海道で長野で名残雪が……。



日本って世界一の豪雪国だそうです。人口の多い国で、これだけの量の雪が降る地域は、世界的に見てもほとんどないそうです。

中でも札幌は、人類始まって以来の豪雪の大都会なのだそうです。

積雪量のギネス記録は滋賀県・伊吹山でした！有人観測史上世界一の1182cmです。これは日本記録でもあります。1927年2月14日伊吹山の記録です。

ちなみに1日の世界最大降雪量も伊吹山がもっています。1975年1月14日に230cmを記録しています。

平地における降雪量世界一は、新潟県中頸城郡関山村です。1946年1月17日に210cmを記録しています。

なぜ、日本はこんなにも雪が降るんでしょう？ それは、四方を海に囲まれた日本は雪が降る好条件を満たしているからです。

日本列島の気圧が西高東低のとき、日本海は暖流が流れていますから、水温より気温の方が低くなり、日本海からの熱と水分を吸収して雲ができ湿った季節風となります。この雲が日本海側に多くの雪を降らせず、学校で教わった通りです。このような条件を満たした場所は、世界地図を見ても、よく考えると珍しいそうです。

積雪量世界一の伊吹山は、「国家・君が代」に詠まれている「さざれ石」の産出でも有名なところですよ。

資料：ウィキペディアより引用

東京都中央区新川1-16-8 KSビル 6F

汚泥ゼロ・臭気ゼロ

ハイブリッドシステム推進中！

株式会社クリーンテックサービス

熊本地震の1日も早い沈静化を願っています！ お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます！